

香害と化学物質過敏症とは

大田母親連絡会とは

日本母親大会連絡会と東京母親連絡会と共に連携して活動スローガンは「命を生み出す母親は命を育て守ることを望みます」大田母親連絡会は1960年、日本母親大会の目標に賛同する大田区内の女性団体や有志が集まって設立しました。以来、毎年大田母親大会を開き、草の根の活動を続けてきました。1988年大田区消費者団体に加入し毎年テーマを決め、教育・食物・暮らし・環境・医療・福祉・平和などを中心に学習してきました。

今までの歩み

● 今まで以下のテーマで学習を進めてきました。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1、大気汚染と健康 | 6、子どもの流行と消費 |
| 2、子どもの食生活 | 7、電磁波の安全性と携帯電話 |
| 3、子どもの朝食 | 8、電磁波過敏症とパソコン使用 |
| 4、子どもの体と暮らしのおかしさ | 9、安全と環境にやさしいせつけん生活 |
| 5、環境ホルモン | 10、そのパン小麦、安全ですか |

今年度は香害、化学物質をテーマに研究を始めました。

● 香害を学習しようと思ったきっかけ

大田母親連絡会の実行委員会である保育士さんが子ども達の衣類を「これはAちゃんのおい」「これはBちゃんのおい」と生活の中に香りが定着しているらしい？それがその匂いのせいで体調を崩す人もいるらしいと聞き、学習する必要があるのではと思いました。

初めに2020年の大田母親大会連絡会学習で「知ってびっくり 化学物質のお話し」をテーマに水野 玲子さんのお話を聞きました。このお話の後、学習を積み重ねていき、少しずつ分かったことが何点かあります。

香害と化学物質過敏症とは



1. 香料とは

0～数百種もの物質を混合し、さまざまな溶剤も添加して作られており、これらの中には、神経毒性、内分泌錯乱物質、発がん性、発がん促進作用などを有するものがあるということ

2. 辛い症状の原因は

柔軟剤、洗剤、消臭スプレー、シャンプー、整髪料等の香料で増えているということ。そして香料で化学物質過敏症を発症したり、アレルギー、ぜん息、咳ぜん息、頭痛他、様々な辛い症状を誘発され苦しんでいる人がいるということ



3. 化学物質過敏症とは

一度に大量の化学物質にさらされたり、低濃度の化学物質に繰り返しさらされると化学物質過敏症すること。いったん発症すると、その後は極微量の化学物質でも過敏症状を起こすようになり、頭痛やめまい、吐き気、目のかすみ、鼻炎やアトピー様症状、倦怠感や筋肉の痛み、鬱、記憶力・集中力の低下等の体調不良に悩まされます。日本では軽度の人を含めれば、10人に1人が何らかの化学物質に対する過敏症状があるといわれています。



→わかってきたこと

学習してきて香害の原因の多くは、柔軟剤だということ。

●そこで、大田母親連絡会は

- 1, 多くの人に香害の深刻さを知らせていくこと
- 2, 内容を少しでも理解した人から香り付き製品の使用を控えていくこと
- 3, 今後も学習の機会を増やし問題点を掘り下げていくこと
- 4, 「香害をなくす連絡会」と連携し運動していくこと



を提起したいと思います。